

平成 16 年度「特色ある大学教育支援プログラム」

採択取組の概要および採択理由

大学・短期大学名	産能短期大学	整理番号	2-4-001
応募テーマ	主として学生の学習及び課外活動への支援の工夫改善に関するテーマ		
取組名称	タテよこ交流に始まる学内サービス学習支援		
申請単位	学科単位		
申請担当者	池内 健治		
<p>(取組の概要)</p> <p>本取組は建学の精神に基づく人間教育の充実を、キャンパスサービス学習を通じて実現することにある。10 年以上の活動を通じて本学が生み出した「Sanno Student Staff (SSS) 活動」では、先輩と後輩、卒業生と在学生および入学前高校生、専攻を超えた学生同士、学生と教職員など、多様なタテよこ交流が行われる。現在全学生がタテよこ交流に触れ、学生の約 3 分の 1 がスタッフとして活動を推進している。この交流によって学生自身が相談し相談される関係を創り出し、他人への配慮ができるようになり、人間的な成長をはぐくむキャンパスコミュニティが醸成されてきた。担当する教職員が連携して行う活動アドバイスとパーソナルサポートの学習支援が SSS 活動によるキャンパスサービス学習を支えてきた。SD・FDによって教職員の支援能力を高める努力も行ってきた。</p> <p>今後の課題としては支援を担当する教職員の充実、将来構想としては SSS 活動に広がりを持たせることと卒業生の活動拠点づくりがあげられる。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>この取組における 2 単位が認定される「キャンパスサービスラーニング」には、産能短期大学の建学の精神や近年の社会動向を踏まえての教育目標達成への努力が十分に認められます。</p> <p>また、この取組は 1970 年から 30 年を超える継続的な活動であり、実施プロセスからみられるように絶えず真摯なフィードバックを全学的に実施してより良いものを作り上げていく姿勢は、他短期大学にも大いに参考となるものであり、十分優れた特色性がみられると思います。</p> <p>なお、この取組は計画・実施・評価・改善を通じての組織的支援体制とその有効性に関する調査体制について十分なものがあり、その将来性についても卒業生の活動の拠点づくりや将来の情報活動など一定の評価が認められると考えられます。</p> <p>この取組は「サービスラーニング」という今日的テーマをいち早く制度化し、その成果を上げつつある点で高く評価できる事例であるといえます。</p>			